

生産ラインの再構築図る

ニューレジストン社長 山内 憲司氏



2014年を振り返ると、2月の製品価格の改定と、4月の消費増税という大きな転換期が重なり、その対応に追

われた1年だったと認識している。特に増税前の駆け込み需要では当初予想を大幅に上回る数量の受注をいただき、4月以降も生産が追い付かずユーザーはじめ、販売店の方々に大変な迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げます。しかも第1四半期であ

る、消耗品メーカーとしていく考えた。4月をめぐって現在ある本社・貝塚・富山工場の役割をも一度明確化させるとあると認識している。もう、様々なニーズに柔軟に対応できるようなフに発表したオフセット型レキシプルライン化を視研削砥石「スーパーレックス」野に入れ、ラインと生産の不均衡を是正していきたいと考えている。

また、エンドユーザーショーや各展示会に出展し、実演を通して同砥石や産業構造が変化している中で、それに対応した性能、耐久性などヒューマン製品のラインアップは必須とするとともに、エンドユーザー向けサンプルを積極的に提供し、性能を理解していただけたと。来期からは同新製品を本格的に当社のオフセット型砥石の主力製品と位置付け、営業展開を推進していく。また11月の工作機械見本市では軸付ダイヤモンドバーの新製品を初披露した。同新製品は鋳物関連でのばり取りに特化したもので当社今後の新潮流になると考えている。約3年前から始動した当社の市場開発グループのマーケティングが機能し始めており、新製品の開発に生かされている。15年度の抱負としては、昨年の経験をもとに生産ラインの再構築を図

に展開していきたい。